



今回は、現代ビジネス学科学生の夏休みの活動を中心にお伝えします。

語学・異文化体験演習

現代ビジネス学科グローバルビジネス専攻では、4週間の短期留学を必修科目に指定しています。今年度は、8月12日(月)から9月6日(金)まで2年生2名の学生が、アメリカ・ハワイパシフィック大学（HPU）に留学しました。

HPUでの勉強は全てが英語で始まり英語で終わる環境でした。クラスも他国からの留学生も多く、国際色豊かでした。そのため、最初の2週間ほどは、戸惑いもありますが、英語のみの環境の中で学ぶことで、次第に慣れてくるものです。これが自国には体験できない留学の醍醐味でしょう。

ホームステイ先では、ホストマザー、同居していたスイスやフランスからの留学生と交流ができ、学校以外の生活でも英語を使うことができました。

ハワイは「観光地」としてのイメージが大きいですが、HPUはビジネス街の一角に位置しているため、観光地とは異なるハワイの側面も体験できたことが魅力の一つでしょう。来年2月にはニュージーランド・ワイカト大学へ7名留学する予定です。



プロジェクト実践「加古川てらこやプロジェクト」

2019年8月31日(土)に、加古川てらこや第3回目の事業として『加古川のことを知ろうの会～てらこや 鶴林寺編～』を開催しました。事業名称からすべての企画運営を理事アドバイスのもと、現ビズ2年生・3年生の学生理事が役割分担して作り上げました。こどもたちが楽しみながら、仏教、「和」の精神、日本文化に触れられるようにプログラムを企画し、お寺での座禅体験、茶道体験に加え、学生手作りのオリジナルかるたを実施しました。こどもたちは、元気いっぱいの中にも、凜とした空間で思い切り楽しみながら学んでいました。次回は、11月下旬に第4回目の事業を実施する予定です。さらにバージョンアップしてまいりますので、ご期待ください。



サマーセミナー



2019年8月7日(水)・8日(木)の2日間にわたり、昨年に引き続き、高校生のための探究型起業体験プログラム「サマーセミナー」を開催しました。今年は、「目指せ アントレプレナー」と題し、ビジネスシミュレーションゲームを行いました。チームに分かれて疑似会社を運営し、自己資本の最大化を目指して競い合い、成果発表を兼ねた株主総会も開催しました。短い時間でしたが、経営者を疑似体験しました。

ご参加いただいた高校生の皆さん、ありがとうございました



インターンシップ

3年生は夏休み期間に、さまざまな企業でインターンシップに参加しました。「インターンシップ」はキャリア基盤科目の1つで、地域ビジネス専攻必修科目としていますが、専攻に関わらず、3年生のほとんどの学生が1週間から10日間、就業体験しました。

インターンシップ先は、加古川市役所、ハローワーク、加古川総合保健センターなどの公的機関、地元の信用金庫、自動車販売会社、小売業、商社、ホテル、ケーブルテレビ会社など多様です。播磨地域の就職サイトを運営する企業で就業体験した学生は、営業体験を通して、播磨地域には情報機器の部品市場で大きな世界シェアを有する企業があることを知り、企業研究、業界研究への関心を深めたようです。受け入れてくださった企業の皆様、ありがとうございました。



Ⅱ期に入り、インターンシップ報告会を開催しました

協働のまちづくり市民会議×熟議 2019



兵庫大学では、2019年9月1日(日)、加古川市と共同で「協働のまちづくり市民会議×熟議 2019」を兵庫大学 17号館 407教室にて開催しました。加古川市在住の方24名、近隣の高校生17名、兵庫大学生20名が多く傍聴者が見守るなか、「あなたが参加したいまちづくり活動って何?～まちづくり活動を一緒に考えよう～」をテーマに議論しました。



現代ビジネス学科の学生も6名参加し、各グループに分かれて地域の皆様とまちづくり活動について話し合いました。さまざまな世代の皆様と地域の課題について考える貴重な機会をいただき、参加した学生にとってはこれからの学びにつながる経験になったことと思います。ありがとうございました。

Facebook ページ「兵庫大学現代ビジネス学部」にて、現ビズ最新情報を随時発信しています。是非ご覧ください。